

# ぐりふぁん letter



Vol.  
33  
2017.3

## INDEX

- ◆ 世光福祉会イマジンにおひさま発電所が出来ました！  
Cherry's Hugおひさま♡いっぱいプロジェクト収支報告 …… 2
- ◆ おひさま発電所点灯式に参加して …… 3
- ◆ まもなく電力自由化から1年 乗り換え先は大丈夫？  
～原発・石炭火力発電とガス会社の怪しい関係～ …… 4
- ◆ 電力自由化が始まって…おひさま発電所の電気はどこへ？ …… 5
- ◆ 2016年度環境学習 …… 6  
環境腹話術@かがやき保育園に参加して  
環境学習実施状況
- ◆ 世光福祉会イマジンおひさま発電所点灯式に参加して …… 7  
マレ シアからの訪日研修 in 法然院  
編集後記

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)

きょうとグリーンファンド

# 世光福祉会イメージに おひさま発電所ができました!

社会福祉法人世光福祉会障がい者地域共生拠点イメージ 所長 中西 昌哉

旧約聖書を開くとはじめに創世記の物語が綴られています。これによると神はまずこの世を昼と夜に分けられ、陸と海をつくり、さまざまな生き物のあとに人をつくられました。しかも神の姿に似せて(イメージ)、男と女をつくられたとあります。この物語を信じる信じないは別として、人はどのようにして誕生したのかを探究する事は、どこか神秘的で哲学的ではないでしょうか。個人の尊厳とか、人権思想さらには共生社会の実現にまでつながっている気がいたします。



この度、社会福祉法人世光福祉会が新築し、おひさま発電所2カ所目を設置できました「障がい者地域共生拠点イメージ」の名称も、創世記の物語からいただいたものです。障害がある方もない方も、強い人も弱い人も、皆、神の姿に似て生まれてきたのだから、分け隔てなく等しく存在し、誰もが大切にされる社会を願ってこの様に命名いたしました。私たちは重度の知的障がいがある方、自閉症の方たちと共にベテスタの家という拠点で一緒に歩んできました。三十余年を経て御家族は高齢となられ、養護学校高等部を卒業したばかりの利用者さん達も中年となってケアホームに入居しておられます。我々のケアホームでは、住宅街の普通の家に2~4名暮らしていただく支援を続けています。近隣の方々には時としてご迷惑をお掛けしていますが、よき理解者として見守っていただいております。

職員達も、人は一人ひとりもてる能力や個性も違うけれどハンディのある者も混ざり合って暮らしていくことが、実は自然なことなのかもしれないと実感してまいりました。

これから新拠点となる「イメージ」も地域の多くの皆さまと交わっていける場を目指しています。太陽光エネルギー活用の「創エネ」の発想が、地域の共生拠点となる「創世記」の物語と重なって輪が広がっていきますように願っております。皆様ありがとうございます。これからもよろしく願いたします。

## 世光福祉会おひさまプロジェクト 収支報告 (8kW規模) 2017年2月

収入の部		支出の部	
寄付金(102件)	1,617,000	設備設置費	2,757,000
設置協力金(2口)	180,000	印刷製本費	211,000
おひさま基金助成	506,000	学習会講師謝金	40,000
民間助成金	42,000	通信運搬費	37,000
設置施設資金	1,140,000	旅費交通費	7,000
		記録費	54,000
		事務局経費	376,000
		雑費	3,000
	<b>3,485,000</b>	合計	<b>3,485,000</b>

(単位: 円、千円以下原則四捨五入)

## Cherry's Hug おひさま♡いっぱいプロジェクト

Cherry's Hug 東向日園は、幼い子どもたちが安全に安心して育つ場、そして、地域の女性たちのための子育て支援やキャリアアップの場、疲れた時にはほっとする場でもあります。

7月9日の点灯式後にまとまった収支のご報告です。9.55kWの太陽光発電設備の発電は順調。京都市内よりも少し発電量は多いようです。

## 収支報告 2016年10月

収入の部		支出の部	
寄付金(55件)	643,000	設備設置費	3,712,000
設置協力金(5口)	467,000	印刷製本費	201,000
おひさま基金助成	590,000	学習会講師謝金	40,000
民間助成金	2,008,000	通信運搬費	32,000
設置施設資金	639,000	旅費交通費	7,000
		記録費	32,000
		事務局経費	310,000
		雑費	14,000
	<b>4,348,000</b>	合計	<b>4,348,000</b>

(単位: 円、千円以下原則四捨五入)

## Cherry's Hugおひさま発電所 月別発電量

2016年7月	8月	9月	10月	11月	12月	2017年1月
851	1,354	932	665	462	349	374

(kWh)



# おひさま発電所点灯式に参加して

生活クラブ京都エル・コープ 理事長 細谷 みつ子

社会福祉法人世光福祉会「イマジン」さんのおひさま発電所点灯式に参加させていただきました。私は発電所設置に向けて一緒に取組んだわけではなく、イマジンさんとの関係があったわけでもないのですが、実際に関わった方々の笑顔や、真新しい建物の心地よい空間に身を置いて、あまりにも感動している自分に驚きました。1か月を過ぎてはまだ、手作りシェードに包まれた温かい光が胸の中に灯っていると感じます。

「イマジン」の所長、中西さんの、障害のある人たちも地域でともに生きていくのだという考え方、この場所を地域に開かれたものにしたいという言葉に共感しました。そして万が一の時には電気の供給ができる、地域に役立つような場所でありたいという考えを聞いたとき、私は東日本大震災で被災した岩手の生産者のことを思い出しました。生産者が新工場を建設した時、同様のことを言っていました。赤ちゃんにミルクを飲ませたくてもお湯がなくて困った、そんなことが無いようにしたい、と。私たち生活クラブ京都エル・コープでも配送センターに太陽光発電所「ありがとSUN」を組合員の出資で設置しましたが、自然エネルギーへの転換を進めたいということと地域での役割を考えました。震災と原発事故を経験し、私たちは脱原発社会を展望しています。

北海道から兵庫まで32の生協でつくる生活クラブ連合会では、2013年には再生可能な自然エネルギーを市民自らが選択できる社会をめざしてエネルギー政策を決定し、省エネ、創エネの推進、再エネの選択を具体的な実行計画の柱として取組んでいます。2014年には自分たちの電力会社(株)生活クラブエナジーを設立し、2016年からの電力小売り自由化により、再生可能エネルギーの割合を30~60%として組合員家庭への電力供給をスタートしています。自前の電源がまだまだ少ないという課題もありますが、ようやくエネルギーを選べる、つまり子どもや地球環境の未来を考えて、生き方を選択する時がきたのです。しかし思った以上に組合員の既存電力からの契約切り替えはすすんでいません。「生協」といえば食、のイメージが強いと思いますが、本当は「協同組合」とは生活を豊かにする自分たちの願いを実現するために人びとが手をつなぐ自治的な組織です。「願い」は倫理的な価値観のもとにあり、社会的責任を伴います。食やエネルギー、地域でたすけあって生きていくこと。まさにどう生きていくかを私たちは考え選択する未来への責任が私たちにはあるのです。このことの共感をいかに広げていくことができるかが問われています。単なるあたまでっかちになってしまわないように。

きょうとグリーンファンドさんのおひさま発電所の取組みは、地域に根ざしてとても具体的です。だれもが無理なくかかわれて、次世代への環境教育にもなっている。点灯式の灯がいつまでも胸の中に灯っているのは、太陽のエネルギーを求めてかかわった人たちの体温を感じる灯りだからなのだと思います。人と人を紡ぎ合って、社会を変えていける希望と勇気、大きなヒントをもらったと感じています。

最後に、生活クラブエネルギー政策を貫く理念として定めた7原則があるのですが、中でも私の好きな前文をご紹介します。



私たちは、人類の共通資産である化石資源を大量に消費することで、産業革命以前の人々とは比べようのないほど膨大なエネルギーを獲得し、今の豊かな暮らしを実現しています。このような暮らしは持続可能（サステイナブル）ではありません。3.11はこれらのことにあらためて気づかせてくれました。わたしたちは、限りある資源を未来の子どもたちと分かち合わなければなりません。そして、“もったいない”という気持ちを大切にす暮らし、“足るを知る”という節度ある暮らしに立ち返りたいと思います。

生活クラブは、省エネルギーをすすめながら再生可能な自然エネルギーによる電気の普及に取組み、日も早く原発に依存しなくてよい社会を構築することを決意して、ここに「生活クラブのエネルギー7原則」を定めます。

# まもなく電力自由化から1年 乗り換え先は大丈夫？ ～原発・石炭火力発電とガス会社の怪しい関係～

認定NPO法人気候ネットワーク 山本 元

## ●「電力小売全面自由化」大きくも小さな一歩

2016年4月よりスタートした電力の小売全面自由化。これによってようやく私たちは電力会社を自由に選ぶことができるようになりました。危険な原発や環境負荷の高い石炭火力に固執する既存の電力会社から、少しでも再エネの普及につながるような、環境負荷の低い電力会社を選び、「支援したい」という方が多いと思います。そんな方にお勧めなのは、「パワーシフトキャンペーン」です。電源構成の開示や、再生可能エネルギー中心の調達など、5つの評価基準を設け、ヒアリング等を通じて、お勧めの小売電力会社などを紹介し、少しでもパワーシフトの趣旨に適する電力会社の発掘に努めています。ぜひ、電力会社の切り替えを検討している方は、参考にして下さい。

小売全面自由化からまもなく1年が経ちます。今回は、電力自由化における「石炭火力発電」の問題と「ガス会社」のお話です。

## ●電力自由化と石炭火力発電所建設問題

「安さ」が強調されがちな電力自由化ですが、注意が必要です。燃料単価が安いことなどを理由に、「石炭」を燃料とする発電所の建設が多数計画されています。現在、48基の計画が明らかになっています。電力自由化との関係について、3つの問題点を紹介します。

### (1) 石炭火力発電推進は原発推進につながる

石炭火力は、CO<sub>2</sub>排出量の多い「高炭素」な電源です。実にLNG火力の2倍のCO<sub>2</sub>を排出してしまいます。そのため大手電力会社は、電気事業低炭素社会協議会において2030年に、温室効果ガス排出係数を0.37kg-CO<sub>2</sub>/kWhにするとしていますが、「非化石電源」の活用によって実現するとしています。その「非化石電源」には、再生可能エネルギーだけでなく、原発も含まれています。原発を温暖化対策の柱としてきた結果が「失敗」であることは今や誰の目にも明らかであるにも関わらず、です。

### (2) 大気汚染、健康影響への懸念がある

最新鋭の石炭火力発電所は、以前のものに比べて「クリーン」だと言われています。しかし、最新の技術であったとしても大気汚染物質（NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>、PM<sub>2.5</sub>）の排出があります。また水銀も含まれており、石炭は「汚いエネルギー」です。建設される地域のみならず、遠く離れているところにも大気汚染や健康への悪影響があります。

### (3) すでに電気は足りています

政府による当初の拡大予測に反して電力消費量は減少しています。再エネの拡大や、省エネの浸透によるもので、今後もこのトレンドは続くと思われます。震災直後は、原発の稼働が見込めないことによるエネルギー供給不足のためとも言われていましたが、石炭火力の多くの計画は2020年以降に完成予定で、今から10年後に、そんなにたくさんの電気が必要でしょうか？建設しても稼働しなくてもよい、あるいは稼働できないことが予想されます。

## ●どんな事業者が石炭火力を進めているのか？

石炭火力発電所の建設は、既存の電力会社だけでなく、大手商社や鉄鋼会社、そして、なんとクリーンなイメージがある「ガス会社」も入っているのです。なかでも、規模の大きな東京ガスや大阪ガスは、複数の計画に参画しています。パワーシフトキャンペーンでは、そうしたガス会社に対しても、「原発・石炭火力に頼らないで！」というメッセージを伝えるアクションを行っています。ぜひ、再エネの推進に舵を切るように、私たちの声を届けましょう。



## ●4月から「ガス自由化」スタート！

2017年4月にガスの自由化がスタートします。電力自由化の反対の構図で、電力会社がガス事業への参入を表明しています。そうした中で、電気とガスのセット割引などの新しいサービスも打ち出されています。家庭のエネルギー供給市場が大きく変わる中、激しい顧客争奪戦が展開されます。しかし、私たちは、ぜひとも目先の「安さ」だけに惑わされることなく、地域全体の便益や長期的な環境保全の視点に立って、購入先を選択することが重要になってきます。また、政策をよりよい方向に切り換えるためにも、パワーシフトや市民共同発電所づくりなどを進めていきたいと思います。

【参考サイト】

パワーシフト <http://power-shift.org/>

DON'T GO BACK TO THE 石炭 <http://sekitan.jp/>



電力自由化が始まって…

## おひさま発電所の電気はどこへ？

2016年4月から電力小売りの全面自由化が始まり、関西電力ではなく他の電力会社から電気を買うことが出来るようになりました。乱立にも見える多くの電力会社のどれを選ぶのか。「電気代が安くなる」だけで選んではいけないことだけはわかるのですが、実際問題インターネットからの情報で判断するのは容易ではありません。

きょうとグリーンファンドも加わっている「パワーシフトキャンペーン」では、以下の重視する評価基準を示し、「電気を選べば、社会が変わる!」と呼びかけています。

1. 電源構成や環境負荷、などの情報を一般消費者開示していること
2. 再生可能エネルギーの発電設備 (FITをふくむ) からの調達を中心とすること
3. 原子力発電所や石炭火力発電所からの調達はしないこと (常時バックアップ分は除く)
4. 地域や市民による再生可能エネルギー発電設備を重視している
5. 大手電力会社と資本関係がないこと (子会社や主要株主でない)

まだ、関電管内での選択肢はそれほど多くはないのですが、再エネを軸に広げていきたいという電力会社はあり、個人であればそれなりに変更は可能です。

では、おひさま発電所をつくり続けてきたきょうとグリーンファンドとしては、どう動けばいいのでしょうか。まず、おひさま発電所の電気を買ってくれるか、いくつかの電力会社に問い合わせましたが、すんなり買い取ってくれるところが案外ありません。きょうとグリーンファンドとしては、少しでも高く買ってもらって、その売り上げは次のおひさま発電所の資金に回していきたい、できれば、協働しておひさま発電所を広げていく仕組みがつかれないかと、考えたのですが、今のところその方向への動きはみえません。どちらかと言えば、ご当地電力会社をつくる動きが加速しているように見えます。水力を除く再エネの割合は3.2%。電気事業連合会「電源別発電電力量構成比」(2014年度)の数字なので、もう少し増えていると思いますが、水力9%を合わせても、再エネ設備からの調達を中心とするという基準は絶対量から見てかなりハードルが高いと言わざるを得ないでしょう。

ということで、きょうとグリーンファンドは2016年10月8日に開催された「電力自由化最新情報交流会」で出会い、その場で唯一おひさま発電所からの電気を買います!とってくれた「坊ちゃん電力」と協議を続けています。「坊ちゃん電力」は、本社が松山市、親会社は住宅用太陽光発電パネルのメーカー。なぜ四国の電力会社となの?、地産地消ではないよね、調達の多くは市場からだし、とパワーシフトキャンペーンの基準から言えば、あまり評価は高くはありません。でも、おひさま発電所設置と連携できる仕組みづくりの可能性を探っ



てみよう、再エネの絶対量が少ない今、まずは増やす事に力を入れなければ、と考えました。現在は、きょうとグリーンファンドが所有する設備について切り替えに向けての手続き(電気料金のシミュレーションなど)を進めています。課題はありますが、きょうとグリーンファンドは単なる消費者ではなくNPOなので、あきらめずに進めていきたいと思っています。

パワーシフトキャンペーンHPより

(きょうとグリーンファンド 大西 啓子)



## ～環境腹話術@cagayaki保育園に参加して～

きょうとグリーンファンド理事

小山 直美

1月16日にかがやき保育園(京都市伏見区)にて、畠山智子さんによる環境腹話術が開催されました。きょうとグリーンファンドでは、おひさま発電所設置後も設置施設と協力しながら、施設が環境に配慮したものになり、それがきっかけで家庭でも環境への配慮が行われるようになることを目指し、環境学習プログラムを企画・開催しています。かがやき保育園では2006年のおひさま発電所設置以来、毎年、畠山さんの環境腹話術が行われてきました。

この日は0歳から年長までの元気一杯の園児さん約90名が参加してくれました。腹話術では、ペンギンさん、ドラゴンくん、シンちゃんが登場。小さな子どもを集中させるのは大変なことだと思いますが、園児さんたちは終始腹話術に釘付け。まるで生きているかのようにいきいきと動いたり喋ったりする人形たちに、大人の私まで見入ってしまいました。

畠山さんは、私たちが便利な生活を追い求めてきたために地球温暖化が起こっていること、温暖化が進むと南極のペンギンたちは生きていけなくなり、私たち人間も暮らしにくくなってしまふことなど、難しい話を人形やイラストを使って、園児さんや先生方とやり取りをしながら、分かりやすくお話されました。

「温暖化を防ぐために、普段どんなことをしている?」「電気を節約するために、要らない電気は消そう。皆もできるかなー?」「はい!」畠山さんの問いかけに、子どもたちは元気一杯に答えてくれました。

腹話術の中では、電気を消すほかにも、ごみを減らしたり、水道の蛇口を締めるようにする、ペットボトルのお茶を買わずに水筒を持参するといったことが出されました。普段、家で自分たちが温暖化を防ぐためにできることに改めて気付いてもらうきっかけになりました。

また、嬉しいことがありました。「CO2がファン、ファン、ファーン!」・・・腹話術が始まる前、講堂に入って来た園児さんたちが、正面の温暖化のイラストを見て歌い出しました。腹話術が進んでいく中で、これは、腹話術の中での畠山さんのセリフ「電気を沢山使ったら、CO2がファン、ファン、ファーン!」、「自動車どんどん走ったら、CO2がファン、ファン、ファーン!」だったことが分かりました。子どもたちは1年前に見た腹話術の、温暖化についてのセリフを覚えてくれたのです。

今回の腹話術が、保育園や家の中で、温暖化を防ぐためにできることを時々皆で話し合い、温暖化を自分自身の問題に引き寄せて考え、温暖化を防ぐための具体的な取組を更に進めていただく機会になることを期待します。



### ◆2016年度 環境学習実施状況

#### 環境腹話術

- 5/18 陵ヶ岡保育園
- 6/16 おおやけこども園
- 6/22 妙林苑
- 8/22 中唐戸児童館
- 9/29 山ノ本児童館
- 10/25 つくし保育園
- 1/16 かがやき保育園
- 1/19 大宮保育園
- 1/30 上鳥羽保育園

#### 自然観察会

- 5/25 おおやけこども園
- 10/28 つくし保育園
- 11/4 妙林苑
- 11/11 大宮保育園



5/25 おおやけこども園  
@京都御苑  
桜の花が終わったら、「さくらんぼ」がなっていました。みんな知ってた?

11/4 妙林苑@  
京大上賀茂試験地  
広い自然の中、落ち葉を踏みしめ、何かないか目を凝らして進んでいきます。



1/30 上鳥羽保育園

おひさま発電所がない園の子どもたちにもお話がよく分かったのは、エコすごろくのおかげかも。



ecoット宇治 金澤 良彦

私はeco(エコ)ット宇治（宇治市地球温暖化対策推進パートナーシップ会議の愛称）の会員です。ecoット宇治は発足して8年目になります。行政・市民・事業者が協働で、家庭や事業者等が身近に取り組める温暖化防止活動の普及・啓発を目的に5つのグループに分かれ、省エネを軸に活動してきました。しかし、もはや省エネだけでは駄目との思いから、H28年度に新たに再生可能エネルギー推進グループを立ち上げました。日本で初めて公共の灌漑水車が稼働したのが宇治だった（徒然草他に記述あり）こともあり、シンボルとしての水車で小水力発電をし、宇治橋のライトアップをしようと思いましたが、しかし多くの難関があり時間が掛かりそう…。そこで着目したのが、きょうとグリーンファンドさんが進めている“おひさま発電”です。今や世界の発電設備の22.8%が再エネ利用と知りました。折しも観月橋近くの福祉施設イマジンでの点灯式に参加することが出来ました。真新しい施設の屋根に8kWのおひさま発電が設置され、「3・2・1…」のカウントダウンで、紙ひもで竹かごの様に組み合わせて作られた大きなボールに入った幾つものあでやかな電球がぱっと点灯し、参加者全員の拍手に包まれました。この時、ecoット宇治も早くきょうとグリーンファンドさんと協働して、宇治の多くの施設におひさま発電を設置したいと思いました。今回の施設も多くの方々との協力で点灯し、今後、利用者・職員の皆様の期待に応え発電し続けることでしょうか。太陽光発電設置おめでとうございます。

## ◆マレーシアからの訪日研修 in 法然院

（公財）京都市環境保全活動推進協会（京エコロジーセンタ 指定管理者）では、JICA草の根「マレーシアのイスカンダル開発地域における、低炭素社会実現に向けた人づくりや地域づくりにかかるプロジェクト」を実施されています。

今回は、マレーシアから研修のため12人の方が訪日されるということで、「日本のNPO活動を知ってもらおう目的で、きょうとグリーンファンドの活動を紹介してほしい。」と依頼を受け、おひさま発電所第1号機のある「法然院森のセンター」での視察となりました。



始めに、法然院の境内を散策し、日本の文化と歴史に触れてもらい、森のセンターの活動のフィールドである法然院の山で、鹿の食害の様子なども見てもらいました。次に、森のセンター内で、フィールドソサイエティの活動について、スタッフの方からお話があり、続いて、きょうとグリーンファンドから、おひさま発電所の仕組みやプロジェクトの進め方、環境学習などについてお話をしました。

今回来日された皆さんは、教育関係者や企業の方などでしたが、メモを取り積極的に質問もされ、大変熱心に聞いておられました。

マレーシアでの「低炭素社会実現」という目的に、「子どもたちの未来のために今できることを…」と活動している、きょうとグリーンファンドの思いが、届いてくれていたらいいなと思いました。

（きょうとグリーンファンド 深川 佳子）

## 📎 編集後記

- ・「安い電気を買いたい！」でも、電気代を安くするには、まず「節電」が手っ取り早いし、「少々高くても再エネの電気がほしい」のならば、再エネを増やすのが先決かな。つまり、電力会社を変更して、おひさま発電所と一緒に作りましょうということなんです。（K.O）
- ・昨年を振り返ると、点灯式を3回行いました。ということは、おひさま発電所が3カ所増えたということで、大変嬉しいです！（Y.F）
- ・昨年からの電力自由化が始まり、我が家では自然エネルギーの発電割合が大きくなり、かつ将来的にも自然エネルギーの発電所を増やしている電力会社に変更しました。（T.Ya）
- ・小学校エコ学習のボランティアに行った時、授業の最後に、先生が矢印の先に“便利”と“地球”と書いて「これからは判断をする機会が多々あるから、皆さんはその時にどちらの道を選ぶかで未来の地球が決まってくるのでよく考えて下さい」と話をされていた。この先生の教え子たちが環境のことを考えて大きく育ってほしいものである。（T.Yo）
- ・パワーシフト「自然エネルギーを選ぼう宣言」をしたいところですが、諸事により断念…それならと太陽光パネル増設を検討中です。首尾は次号で…（S.K）

# 《 ぐりふあん日誌 》

2016年

- 7/8 京都GPN総会出席
- 7/9 Cherry's Hug東向日園点灯式
- 7/13 損保ジャパンよりヒアリングと施設見学:陵ヶ岡保育園
- 7/23 上鳥羽「夏の夜市」参加
- 8/3 ヒアリング (eco宇治)
- 8/5 上鳥羽北部いきいきにてエコプロフェクト打合せ
- 8/7 パワー学習会参加
- 8/10 上鳥羽北部いきいきにてエコプロフェクト打合せ
- 8/22 環境腹話術:中唐戸児童館
- 8/24 再稼WG参加
- 8/31 ヒアリング (すいた市民環境会議)
- 9/6 PVガイダンス取材
- 9/7 京都府環境審議会再稼導入促進プロジェクト委員会出席
- 9/12 京都GPN幹事会出席
- 9/15 Cherry's Hugプロフェクト打合せ
- 9/16 再生可能エネルギーWG会議出席
- 9/21 第112回理事会
- 9/29 ヒアリング (積水のマッチングプロジェクト助成について)  
環境腹話術:山ノ本児童館
- 10/1 上鳥羽北部いきいきにてエコカキク講座参加
- 10/6 上鳥羽北部いきいきにてエコ学区の打合せ
- 10/8 電力自由化「最新情報」交流会参加(しんらん交流館)
- 10/20 まこと幼稚園訪問
- 10/25 環境腹話術:つし保育園
- 10/26 世光福祉会おひさまプロフェクト打合せ

- 10/27 京都GPN臨時総会出席
- 10/28 自然観察会:つし保育園
- 11/4 自然観察会:妙林苑(京大上賀茂試験地)
- 11/5 京都工社ビルフェア2016出展
- 11/8 上鳥羽北部いきいきにてエコ学区ワークショップ参加
- 11/11 自然観察会:大宮保育園(府立植物園)  
京都府環境審議会出席
- 11/13 阪急阪神HD従業員バスターにて活動紹介:上鳥羽北部いきいき
- 11/26 世光福祉会イベント開所式列席
- 12/2 JICA草の根プロジェクト日研修会にて活動紹介:法然院  
森のセンター
- 12/4 気候ネットワーク全国シンポジウム「市民が進める温暖化防止2016」参加
- 12/6 京都府環境審議会出席
- 12/7 平成28年度「エコ学区」に係る学習会等支援業務受託事業打合せ  
第113回理事会

2017年

- 1/16 環境腹話術:かみやき保育園
- 1/19 環境腹話術:大宮保育園
- 1/22 シンポジウム「地域分散型エネルギーシステムに向けて」参加
- 1/26 京と地球の共生府民会議 環境連続性に参加
- 1/30 環境腹話術:上鳥羽保育園
- 1/31 地球温暖化防止活動推進連絡調整会議出席

## □ 寄付のお願い

きょうとグリーンファンドの活動はみなさまの寄付によって  
ささえられています。  
おひさま基金へのご寄付は ゆうちよ振替をご利用下さい。

**ゆうちょ銀行振替口座番号:00930-6-157817**  
**加入者名:きょうとグリーンファンド**

★2015年4月1日付で京都市から認定NPO法人として再認定されました。  
認定NPO法人への寄付は、税法上の特別措置の対象になります。

会員数	68
正会員	42
賛助会員	21
法人会員	5
	2017/2 現在



認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)



〒600 8191 京都市下京区五条高倉角堺町21 事務機のウエダビル206  
TEL/FAX ; 075 352 9150 E mail ; info@kyoto gf.org  
URL ; http://www.kyoto gf.org (火～金 13:00～17:00)

